



概要

○広葉樹資源の持続可能な利用に向けて、航空レーザや衛星写真等の活用による森林資源の効率的かつ高精度な把握技術や、広葉樹伐採の選木方法等の開発に先導的に取り組めます。

広葉樹資源の把握・利用

STEP1 広範囲の資源把握

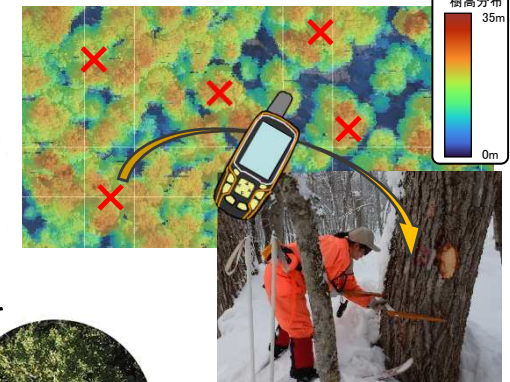
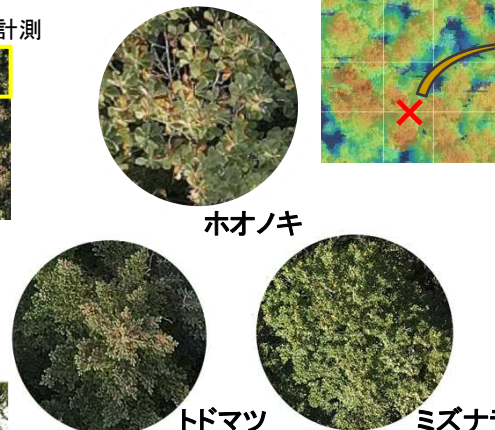
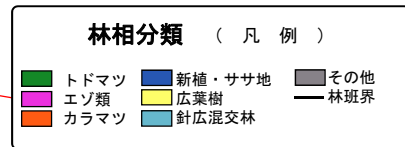
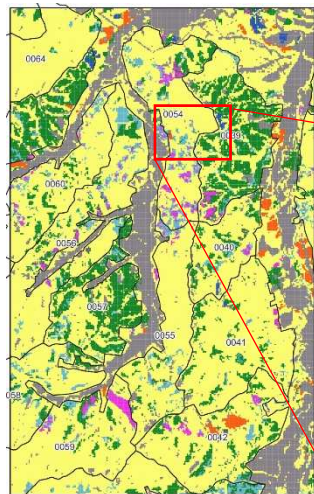
- ・衛星画像の解析による林相分類を行い、天然林の針葉樹、広葉樹の分布状況を把握
- ・針葉樹人工林内の広葉樹の侵入状況についても把握

STEP2 詳細な林分把握

- ・分布状況を基に、広葉樹資源量の多いエリアを対象に、航空レーザ等により樹冠高を計測するなど、詳細な情報を取得
- ・高解像度の画像データを用い、目視で樹種を判読

STEP3 広葉樹伐採の選木等

- ・伐採候補木の位置情報を基に現地で照合



STEP1～3を複数の地域で繰り返し実施し、精度の検証とデータの蓄積を行う。

- R3: 上川南部管理区
- R4: 網走西部・網走東部管理区
- R5: 十勝・日高管理区

- ・効率的な広葉樹の調査・販売方法を検討・確立
- ・解析結果等を森林調査簿へ反映する仕組みを開発